

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体		
読書習慣推進事業			南区役所企画総務課		
事業目的	事業内容	活動指標	H28	H29	H30
子どもの読書習慣の定着を図り、子どもの学ぶ意欲や学力の向上につなげることを目的とする。	・夏休みに各小学校・支援学校小学部で最も多くの読書をした児童を秋の読書週間に区長表彰する。また、読書MVPの子どもたちがおすすめする本をHPで紹介。 ・子ども司書活動の支援の1つとして、子ども司書が作成したブックリストを全小学校の児童に配付や子ども司書の読み聞かせを行う場の提供。また、子ども司書活動を紹介する巡回展の開催などをおし読書の啓発。	夏休み読書MVPの応募者数	-	-	1,051人
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 本事業は、区教健提言を受け、学習意欲の向上に向けた取組みの1つとして実施したもので、子どもの家庭での読書習慣の定着をめざし、そのきっかけづくりを行う事業である。	○ 図書館との連携事業であり、また学校の協力をいただきながらの実施。子ども司書活動をおとした読書啓発については、学校の保護者懇談会の際にあわせて巡回展を実施するなど学校との連携を進めている。	○ 読書MVPやブックリストの配付については、南区の小・支援学校を通じて、全保護者に通知できている。また、子ども司書の読み聞かせは、乳幼児健診の際や図書館のイベントに参加された保護者にも、知っていただく機会となっている。	○ 読書MVPとブックリストの配付を夏休みの同時期に行うことで、相乗効果が見込まれる。また、子ども司書活動を紹介する巡回展を保護者懇談会の時期に合わせることで、多くの保護者に見ていただくことができた。		
⑤自立発展性	総合評価				
○ 家庭での読書活動が定着することにより、日々の読書活動がより活発に行われるようになる。また、子ども司書については、周りの人に読書の楽しさを伝える活動を行っている。	○ 読書MVPについては、今年度からの取組であったが、多くの児童に応募いただくことができ、また、子ども司書活動については、図書館のイベントでも読み聞かせを行うなど、活動の場が増えた。効果がすぐに表れるものではないが、参加数や活動実績から見て読書活動のきっかけづくりにつながっているものと考え。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	子どもたちの読書活動の推進を図ることは継続して取り組むべきことであるが、その取組みについては、効果を検証しながら実施内容や方法を検討していく必要がある。				